

| 番号 | 担当課・室 | 会場 | ご意見の要旨 | 市長の回答 | 対応状況 |
|----|---------------------|----|---|---|--|
| 1 | 建設課 | 牛窓 | 水位が高くなると、鹿忍の港から自宅前の畑まで海水が逆流する。鹿忍の大樋門の管理を適切にしてほしい。 | 大樋門は樋守を地元をお願いしている状態。樋門を管理している人に状況を説明し対応するよう建設課に伝える。 | 樋門管理者と管理方法について協議中です。 |
| 2 | こども家庭課 | 邑久 | こどもひろばについて、毎回同じ内容ではなく、段ボールや木などを使った遊具を子どもたちが一緒になって考えて作ることもしてみてもどうか。段ボールを使って遊ぶことは、災害時の段ボールベッドの作り方を学ぶことにもつながると思う。 | こどもひろばの遊びの工夫について担当課に伝える。 | こどもひろばの開催については、外遊びを楽しむ取り組みとして、子どもたちが創意工夫しながら遊べる素材や材料を用意することを検討していきます。段ボールを使って遊ぶことは、災害時の段ボールベッドの作り方を学ぶ機会にもつながると思います。貴重なご意見をありがとうございます。 |
| 3 | 瀬戸内市民病院 | 邑久 | 以前、家族が顔にけがをしたので市民病院に行ったが、担当医がいないので対応してもらえなかった。顔の消毒だけでも看護師に処置してもらえたらよかったと思う。 | 看護師は診て差しあげたかったと思うが、担当医が不在で、看護師だけで責任を持って処置することが難しかったのだと思う。幅広く診察に対応し市民の皆さんに寄り添える病院になるよう私からも伝えておきたい。 | 来院いただいた時間帯等が明確ではないため、詳細が分かりかねますが、外科に関しては、平日の日中であれば、代理で診察等を行っています。いただいた意見については、医局でも報告し、共有します。 |
| 4 | 文化観光課 (瀬戸内市観光協会) | 邑久 | 瀬戸内市にはたくさんのだんじりがある。玉津地区のだんじりと津山のだんじりは同じ製作者であることから、文化交流として、一緒にタイアップして何かできないか。瀬戸内市にはたくさんだんじりがあることを広く認識してもらい、観光PRに市内のだんじりを活用してほしい。このことが文化の伝承にもなり、外国人観光客向けの観光資源にもなる。まずは、インターネットを利用して、動画でのPRから始めてみてはどうか。 | だんじりについては、観光協会とも意見を交わした。地域の皆さんは、大変な中で保存活動をやっているの、よく話し合いをして、少しでも観光の振興やPRにつながる部分がお互いに見出せるのであれば、話をしながら盛り上げていきたいと思う。インターネット上でのPRについては観光協会にも相談したい。 | 市内には、牛窓だんじり(8基、県指定の有形民俗文化財)、邑久・玉津地区のだんじり(10基、市指定有形民俗文化財)、長船地区のだんじり(2基、市指定有形民俗文化財)があり、その保存活用に対して補助金等の支援をするとともに市ホームページや広報せとうちに掲載するなど周知を図っています。また、市観光協会と連携し、観光ホームページ「瀬戸内市の旅」やSNSを通してだんじりが巡行する牛窓秋祭りや大賀島権現祭りなどを周知しています。 |